



第30回 世界牛病学会 2018 札幌

The 30th World Buiatrics Congress 2018 Sapporo

2018年8月28日(火)～9月1日(土)

アジア初開催!

会場 | 札幌コンベンションセンター

同時通訳付き

主催 / 第30回世界牛病学会2018札幌組織委員会
 日本獣医師会獣医学術分野別学会日本産業動物獣医学会
 共催 / 北海道獣医師会
 協力 / 独立行政法人国際観光振興機構
 後援 / 農林水産省、観光庁、北海道、札幌市、酪農学園大学、帯広畜産大学、
 北海道大学大学院獣医学研究科、農業・食品産業技術総合研究機構、
 北海道農業共済組合連合会、北海道農業協同組合中央会、
 ホクレン農業協同組合連合会、日本家畜臨床学会、大動物臨床研究会、
 大動物画像診断治療研究会、獣医輸液研究会、家畜感染症学会、
 日本乳房炎研究会、護蹄研究会、北海道家畜産物衛生指導協会、
 九州沖縄産産動物臨床研究会、牛臨床寄生虫研究会、日本獣医麻酔外科学会



事前参加登録期間

[早期登録締切]
2018年4月30日(月)

[通常登録締切]
2018年7月31日(火)

お早めにご登録いただくと
参加費が当日登録よりも
お安くなります。
※詳しくは裏面をご覧ください。

お問い合わせ先 / 第30回世界牛病学会 2018 札幌 運営事務局
 株式会社コンベンションリンケージ内 〒060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル
 TEL011-272-2151 FAX011-272-2152 E-mail: wbc2018@c-linkage.co.jp

www.wbc2018.com



皆様のご参加・ご来場を心よりお待ちしております。

参加登録のご案内

区分	早期登録 ～4月30日	通常登録 5月1日～7月31日	当日登録 8月1日～
一般	50,000円	70,000円	90,000円
学生	20,000円	30,000円	40,000円
同伴者	25,000円	35,000円	45,000円
ワンデーパー	—	—	35,000円
コンgresディナー	12,000円		
講演要旨集	8,000円		

※学生参加は、事前に学生証のコピーを運営事務局までメールにて提出ください。
 ※お支払いは、クレジットカード又は銀行振込にてお願いします。

【事前登録期間】
 早期登録: 2017年8月28日～2018年4月30日
 通常登録: 2018年5月1日～7月31日
 【当日登録期間】
 2018年8月1日以降、会期当日
 【参加登録方法】
 1. ホームページ [http://www.wbc2018.com] のRegistration ボタンからご自身のアカウント「My Page」を作成ください。
 2. アカウントを作成後、「My Page」から事前参加登録をお願いいたします。
 ※My Page登録後に送られるメールで必ず本人認証を行ってください。

宿泊のご案内

ホームページにて宿泊等に関するご案内を行なっております。
 詳しくはホームページ [http://www.wbc2018.com] の
 Accommodation をご覧ください。

[お問い合わせ先] (株) JTBグローバルマーケティング&トラベル
 E-mail: wbc2018@gmt.jtb.jp TEL: 03-5796-5445

会場アクセス

札幌コンベンションセンター

〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1
 TEL: 011-817-1010

◎新千歳空港から		札幌コンベンションセンター	
新千歳空港	新千歳空港連絡バス 約40分	地下鉄 大谷地駅	地下鉄東西線 約10分
新千歳空港	JR 約30分	地下鉄 東札幌駅	地下鉄東西線 約13分
新千歳空港	JR 約36分	地下鉄 東札幌駅	地下鉄南北・東西線 約8分
札幌駅	地下鉄南北線 約2分	地下鉄 東札幌駅	地下鉄東西線 約6分
札幌駅	タクシー・マイカー 約10分	地下鉄 東札幌駅	地下鉄東西線 約8分



スポンサー



出展社 (五十音順)

板橋貿易株式会社
 キヤノンメディカルシステムズ株式会社
 全国農業協同組合連合会
 DSファーマアニマルヘルス株式会社
 東亜薬品工業株式会社
 有限会社ベッセル獣医環境衛生研究所
 株式会社メディカル・タスクフォース
 Animals MDPI
 BCF TECHNOLOGY
 ECM IMV Technologie Group
 IDEXX
 MAI Animal Health
 VETSTREAM LTD



The 30th World Buiatrics Congress 2018 Sapporo

第30回 世界牛病学会 2018 札幌



ごあいさつ



1960年から2年ごとに開催されている世界牛病学会の第30回目を、アジアで初めて、日本の札幌で開催することとなりました。60年の歴史ある本学会を主催するに際し、「牛」の「病気」だけでなく反芻獣全般に関して、多角的な観点から知識と情報を交換する場を提供できるよう準備しております。

獣医師、畜産業従事者、研究者、畜産関連業者、食品産業や製菓業に従事している方々など、職種にとらわれることなく一同に会することのできるWBC2018札幌は、日本に居ながらにして、世界各地のそれぞれの畜産事情を背景とした反芻獣の科学に触れられる、よい機会であると考えております。8月の快適な北海道で、皆様にお会いできることを心より楽しみにしております。

第30回世界牛病学会2018札幌 大会長・組織委員長 **田島 啓士** (酪農学園大学教授)

基調講演 海外の著名な専門家をお招きし下記の主要なトピックスについて講演いただきます。

薬剤耐性菌 Antimicrobial resistance Dr. Christophe Beloin バイオフィロム関連感染の原因と治療的視点 Group leader, Department of Microbiology, Institut Pasteur フランス	薬剤耐性菌 Antimicrobial resistance Prof. Dr. Theo J.G.M. Lam 乳牛における抗菌剤の使用と薬剤耐性 Manager, R/D, GD Animal Health, Professor, Department of Farm Animal Health, Utrecht University オランダ	牛の福祉と快適性 Bovine welfare and cattle comfort Dr. Ed. Pajor プロダクションメディスンにおける牛の行動と福祉 Professor, Anderson-Chisholm Chair in Animal Care and Welfare, Production Animal Health/ Faculty of Veterinary Medicine, University of Calgary カナダ	水牛、ラクダ科動物、他 Buffaloes, camelids and wild ruminants Dr. Mohammed Shamsuddin 水牛の生産と衛生 Technical Officer, Nuclear Sciences and Applications/Joint FAO/IAEA Division of Nuclear Techniques in Food and Agriculture, International Atomic Energy Agency オーストリア
BVD BVD Prof. Joe Brownlie BVD撲滅への果てなき挑戦—ともに実行できるか? Honorary Research Fellow, University of Bristol Veterinary School, Emeritus Professor of Veterinary Pathology, Royal Veterinary College イギリス	画像診断 Diagnostic imaging Mr. Karl Nuss 牛の整形外科超音波診断 Section Head, Farm Animal Surgery, Farm Animal Department, Vetsuisse Faculty, University of Zurich スイス	Eラーニングと卒後教育 E-learning and continuing education Dr. Martin Fischer 医学領域における学部教育および生涯教育への新しいメディア技術の統合：症例による学習とその評価 Director, Assoc. Dean for Clinical Education, Institute for Medical Education University Hospital, LMU Munich ドイツ	疫学 Epidemiology Prof. Mark Stevenson EBMに関する最新情報：牛臨床家のためのツール Professor, Veterinary Epidemiology, Faculty of Veterinary and Agricultural Sciences, The University of Melbourne オーストラリア
ハードヘルス Herd health Prof. Dr. Jos.P.T.M.Noordhuizen 酪農における生産獣医療 Professor in dairy herd health & productivity management, Veterinary Science, Charles Sturt University, Wagga Wagga, NSW, Australia フランス	蹄病 Hoof health and lameness Prof. Christer Bergsten 跛行ゼロは到達可能なゴールか？短・長期的視点で蹄の健康を推進させ、跛行を減らすための戦略 Professor, Biosystems and technology, Swedish University of Agricultural Sciences スウェーデン	免疫とワクチン Immunology and vaccines Dr. Geraldine Taylor 子牛における牛RSウイルスの免疫 Honorary Fellow, The Pirbright Institute イギリス	細菌性感染症 Infectious diseases: bacteriology Dr. Richard J Whittington 抗酸菌感染症の対策：ヨーネ病と牛結核 Professor, Farm Animal Health, Sydney School of Veterinary Science, University of Sydney オーストラリア
ウイルス性感染症 Infectious diseases: virology Dr. Paul M. Coussens 牛白血病ウイルス感染症：牛の正常な免疫応答に与える静かなる大きな脅威 Professor and Director, Molecular Pathogenesis Laboratory, Department of Animal Science, Michigan State University アメリカ合衆国	内科 Internal medicine Dr. Walter Grünberg 乳牛の移行期の食餌性リン欠乏における筋組織のリンバランスと筋機能 Research associate, Clinic for Cattle, University of Veterinary Medicine Hannover ドイツ	栄養と代謝病 Nutrition and metabolic diseases Prof. Garrett Oetzel 代謝性疾患が乳牛の健康と繁殖成績に及ぼす影響 Professor, Food Animal Production Medicine Section, Department of Medical Sciences, School of Veterinary Medicine, University of Wisconsin-Madison アメリカ合衆国	寄生虫病 Parasitology Dr. Massaro Ueti ダニ媒介性寄生虫病、特に牛のバベシア症とアナプラズマ症の制圧に向けて Veterinary Medical officer, US Department of Agriculture, USDA-ARS アメリカ合衆国
公衆衛生と食品の安全性 Public health and food safety Prof. Martin Blaser カンピロバクター・フィータスの宿主免疫回避機構：牛と人に感染するために重要な菌の巧みな戦略 Muriel & George Singer Professor of Translational Medicine, Medicine, New York University Langone Medical Center アメリカ合衆国	繁殖 Reproduction Dr. José Eduardo P. Santos 乳牛における泌乳能力、健康および繁殖性の改善 Research Foundation Professor, Department of Animal Sciences, University of Florida アメリカ合衆国	外科 Surgery Prof. Dr. Adrian Steiner 乳牛の乳頭外科 Clinic head, Farm Animal Clinic, Vetsuisse Faculty, University of Bern スイス	熱帯家畜疾病 Tropical animal diseases Dr. Keith John Sumption 熱帯・亜熱帯地域における口蹄疫 Executive Secretary, European Commission for the Control of Foot- and - Mouth Disease(EuFMD), Animal Health Service, Animal Production and Health Division, Food-and-Agriculture Organization of the United Nations イタリア
乳房衛生 Udder health Prof. Pamela Ruegg 臨床型乳房炎のコントロール Professor, Department of Dairy Science, University of Wisconsin-Madison アメリカ合衆国	乳房衛生 Udder health Mr. Peter Edmondson 乳質と乳房炎コントロール Owner, Udderwise LTD イギリス	子牛・育成牛 Young stock Dr. John Frederick Mee 新生乳用子牛の集中治療—実行への知識 Principal Veterinary Research Scientist, Animal and Bioscience, TEAGASC アイルランド	

※都合により講演者が変更になる場合もございますので、予めご了承ください。

プログラム概要

同時通訳付き

8月28日(火)	8月29日(水)					8月30日(木)						
会場	Room A	Room B	Room C	Room D	Room E	Room A	Room B	Room C	Room D	Room E		
オープニング セレモニー 会場/Room A 17:00-18:00	乳房衛生 ①	栄養・代謝	子牛・育成牛	BVD	中小反芻動物	乳房衛生 ②	ハードヘルス	牛の福祉と快適性	内科	公衆衛生		
	基調講演	基調講演	基調講演	基調講演	一般口演	基調講演	基調講演	基調講演	基調講演	基調講演		
	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演		
	Coffee Break					Coffee Break						
	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演		
	Lunch					Lunch/ランチョンセミナー						
	一般口演	一般口演	寄生虫病 基調講演	画像診断 基調講演	一般口演	薬剤耐性菌 ① 基調講演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	
	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	和牛 寄生虫病	一般口演	一般口演	一般口演	
	Coffee Break					Coffee Break						
	スポンサー シンポジウム ①	ワークショップ ①	ワークショップ ②	ワークショップ ③	スポンサー シンポジウム ②	スポンサー シンポジウム ③	ワークショップ ④	ワークショップ ⑤	ワークショップ ⑥			
8月31日(金)					9月1日(土)							
会場	Room A	Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room A	Room B	Room C	Room D	Room E	Room F
	繁殖 ①	薬剤耐性菌 ②	免疫	蹄病	疫学		繁殖 ②	細菌性感染症	ウイルス性 感染症	外科	水牛	
08:30-09:15	基調講演	基調講演	基調講演	基調講演	基調講演	ワークショップ ⑦	一般口演	基調講演	基調講演	基調講演	基調講演	ワークショップ ⑧
09:15-10:15	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	ワークショップ ⑦	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	ワークショップ ⑨
Coffee Break						Coffee Break						
10:15-10:45	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	ワークショップ ⑦	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	
10:45-12:30	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	ワークショップ ⑦	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	
Lunch/ランチョンセミナー						Lunch						
14:00-14:45	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	一般口演	ワークショップ ⑧	一般口演	一般口演	臨床遺伝 一般口演	一般口演	Eラーニング 一般口演	
14:45-16:00	一般口演	ハードヘルス 一般口演	治療・薬理 一般口演	その他 一般口演	毒性 一般口演	ワークショップ ⑧	一般口演	一般口演	一般口演	持続可能 生産システム 一般口演	基調講演 一般口演	
16:00-17:30	スポンサー シンポジウム ④							Closing Ceremony 16:15-				
Gala Dinner (別会場) 19:00-												

※プログラムは今後変更になる可能性がございます。(2018年1月現在)

ワークショップ

- 死産率とストレスに誘発される子宮疾患を減少させるための分娩管理の重要性
- 黒毛和牛における細菌性肺炎の治療
- 牛病専門家のレベルアップ—個体の診療からチームのリーダー育成ができる信頼される助言者へ
- 2025年における獣医師と食料生産：健康な動物から生産される良好な食品の生産性、質と福祉のスタンダードを改善できる革新的な方法を伝達するために獣医ネットワークはどのように協力していけるのか
- 黒毛和種牛の特徴と将来への展望
- 産業動物界で女性獣医師等の力を最大限に発揮するにはどうしたらよいか
- JANOWITZとCHRISTIANSENによる腹腔鏡を用いた第四胃整復術：器具と手技について
- 東日本大震災と福島第一原発事故後の警戒区域内の被災動物(牛)—調査結果と教訓
- 「やぐら鶴」：口蹄疫や鳥インフルエンザの防疫活動など緊急時のチームワークや情報伝達について学ぶ

※ワークショップ・ランチョンセミナーは事前参加登録が必要です。詳しくはホームページをご覧ください。

スポンサーシンポジウム

- 効果的なハンドリングによる牛呼吸器病の発生及びその影響の最小化 家畜の健康と生産性：適正なバランス
ゾエティス
- 鼻腔粘膜ワクチン：粘膜免疫システムに基づくメカニズム及びその利点
ゾエティス
- One Health シンポジウム 2018—AMRへのアプローチ—
ミヤリサン製薬株式会社
- タイトル未定
ベーリンガーインゲルハイム

ランチョンセミナー

- 乳牛産期の飼養管理における新しいコンセプト：免疫の観点から
エランコジャパン株式会社
- タイトル未定
ゾエティス

企業展示

8月28日(火)~9月1日(土)

ポスター発表

8月29日(水)~9月1日(土)